

# 共同プロジェクト

2007年  
冬公開予定

映画

TWILIGHT FILE IV

## 『鋼鉄マスター』

主演男優&主演女優&  
主題歌アーティスト  
新人オーディション開催

本誌4月号でも募集告知した共同プロジェクト第2弾『約束の地に咲く花』に続き、第3弾映画『鋼鉄マスター』の製作が決定した。今作でも、新人枠が多数用意されているので、俳優・女優を目指す人にとってはビッグチャンスだ。

「3回のオーディションを考えているんですが、そのなかから魅力的な人材に出会えればと思います。もし可能性がある人であれば、その方に合わせて台本も多少はアレンジしていく予定です」(神田プロデューサー)

なんとと言っても、今回のオーディションは主演男優&女優募集。過去にもオーディションから、いきなり重要な役でデビューを果たした人もいた同所だけに、いきなり主演として映画デビューの可能性も大。まずは応募をして夢に向かって第一歩を踏み出してみよう！

新作のストーリーは『鋼鉄マスター』(原作/それでもヤクザはやってくる)という実話小説をもとに作られている。"美味しい"と評判の焼き肉屋に嫌がらせをするヤクザと店主の物語だ。アクション・シーンが多くなる予定だが、殺陣指導の経験もある、同社作品『矜持』の高瀬将嗣氏が監督を務めるので心配は無用。演技経験の有無を問わず広く一般から募集する。

映画製作会社ミライ・アクターズ・プロモーションとバーニングプロダクション附属バーニング養成所の共同プロジェクト映画・第3弾『鋼鉄マスター』の製作が決定。これまでの各作品で多くの新人を起用しているが、今作もオーディションによってキャストを募集する。

今冬公開予定の  
劇場公開映画第3弾  
『主演男優&  
女優オーディション』  
募集が開始!

## オーディションにて映画『約束の地に咲く花』小夜役に抜擢



森下 絵理 さん

1984年6月6日生まれ。香川県出身。『TWILIGHT FILE 矜持~KYOUJI~』でデビューし、2作目にして準主役級の小夜役に抜擢された。

### 現場での経験は大きく役立ちました

本誌の募集記事を読んで応募をしたことがキッカケで『矜持』に出演。その演技や人柄が評価され、2作目にしてストーリーのなかで重要な鍵を握る小夜役に抜擢された森下さん。

「実は役が決まってからプレッシャーで眠れない日が続いたんです。でも実家に帰る機会があって、気持ちの整理がついたこともあって撮影時にはすんなりと演じることが出来ました」と、当時は振り返る。

彼女はバーニング養成所のトレーニングを受けているのだが「トレーニングも演技をするうえで役立ちましたが、やっぱり現場に出ると演技はもちろんスタッフの方とも話せるので勉強になりますね。現場での空気感や人間としても成長させてくれました。それが演技の引き出しを増や

してくれたと思っています」

ところで、森下さんが演じる小夜とはどんな女性なのだろうか？

『約束の〜』では昏睡状態に陥っているのベッドで寝ているシーンが多いんですけど、(小夜は)人に与えるエネルギーというかわけが大きいんです。状態が悪くても友達が集まってくれるくらい、まわりの人に愛されているしみんなを愛している女性ですね。それを眠っている演技でも表現するのは難しかったですけど、気持ちは伝えているのでぜひ見てください」

最後に今後の目標を尋ねると「現場を経験することで、以前より向上心が強くなって努力することが好きになりました。もっと女優として向上していきたいと思います」

## バーニング養成所研究生も多数スクリーンデビュー！！

### 現場を経験して演技の楽しみを知った

バーニング養成所の研究生が多数オーディションを経て、『約束の地に咲く花』に出演している。

種崎「私は受かるとは思ってなかったのに、本当に合格したのでとてもビックリしました。なので撮影前はドキドキしていました」

丹羽「オーディションは緊張しましたね。いくつもある役の中から(高校時代の)小夜に選ばれると思わなかったので嬉しかったです」

安田「確かに出演できるのは嬉しいけど、これだけで満足しないで次のステップになるように頑張らなきゃって思っています。この機会を活かせるようにしたいですね」

と、演技に対して高い意識を持って撮影に取り組んだ様子。

奥村「安田君とは同じ家光役(高校時代と現在)なので2人で演技について話し合いましたね。

あと地方から上京する心境は家光と一緒になので共感しました」

堤坂「僕は普段は元気だけど、喋れない役だったんです。だから表情を工夫したり、演技を監督さんに教えてもらいました。演技は初めてだったけど本当に楽しかったです」

丹羽「そうですね。演技は監督の指導や自分なりに工夫をして「見せ場」が作れるように頑張りました」

バーニング養成所の加藤理事長も「若い人が一生懸命に頑張るから応援していきたいね。でも最終的には自分ではなく、見ている人から認められるプロを目指そうね」と、エールを送った。



(後列左から)奥村功さん、丹羽斐沙江さん、安田泳福さん。(前列左から)堤坂拓弥くん、加藤孝理事長、種崎夏楢さん。



映画 『約束の地に咲く花』  
TWILIGHT FILE』  
監督&出演者 interview

須賀貴匡 三津谷葉子  
鈴木一功 遠藤一平監督  
加藤孝理事長  
神品信市プロデューサー

本誌4月号で募集をした映画『約束の地に咲く花』はオーディションを経て出演者が決定。そこで今回は先輩女優・俳優や監督、加藤理事長、神品プロデューサーを交えて撮影秘話や映画の見どころなどを語ってもらった。

新人も現場に出れば  
“役者”として先輩と共演。  
自分なりの役作りと  
コミュニケーションが  
演技力を育てていく。



須賀貴匡

ドラマや映画、舞台などで活躍し『仮面ライダー龍騎』で注目を集めた。来年3月16~31日には舞台『恋の骨折折損』（彩の国さいたま芸術劇場）に出演予定。



三津谷葉子

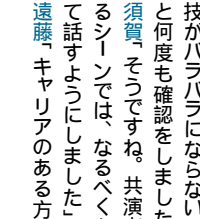
ドラマや映画など幅広く活躍。最近では映画『東京大学物語』で主演を務めるほか、『紀子の食卓』などに出演。今作では小夜の友人・早川望を演じている。

遠藤「ミライ作品は2回目なんですけど、新人はもちろん俳優陣に協力していただいて撮影しました(笑)」  
三津谷「いえいえ。私は出演者がいっぱいいて楽しい現場でした」  
須賀「僕の場合、皆さんと違って単独行動が多いんですよ。それで最初は演技のバランスとか風間(役)の狙いが定まらなかったため遠藤監督とは話し合いをしました」  
遠藤「風間は物語を困惑させる役でしたからね」  
鈴木「そういった意味では僕もヤクザっぽくならないように、演技をどう抑える



鈴木一功

76年に劇団レクラム舎を設立し代表として活躍するほか、数多くのドラマや映画、舞台やラジオなどに出演。



遠藤一平監督

映画『湯浅Less』や『記憶の庭』などで活躍。ミライ・アクトース・プロモーション制作映画では『TWILIGHT FILE 幻』でも監督を務めた。

か”とか、若い人と共演するので会話をするのは重要ななと感じました”  
このように現場に出て先輩俳優とコミュニケーションをとったり、共演することで新人が成長できるのがミライ・アクトース・プロモーションならではの。森下「私は昏睡状態でベッドに横たわってるんですけど小夜という役に入り込めました。でも三津谷さんがベッド脇にいて緊張もあって……」  
三津谷「私は小夜(森下)に熱い視線を送ってました(笑)。目をつぶってるんだけど意識はあるから起きてるって感じなんです。すごいですよね」  
神品「そつやって新人と先輩が共演することでお互いに刺激を受けるのはいいことですよね」  
と、キャリアを問わず真剣に演技に取り組んでいるエピソードを話してくれました。そんな熱意は先輩俳優も役を演じるうえで同様。



神品信市

ミライ・アクトース・プロモーション代表。オリジナルの劇場公開映画や舞台のプロデュースを多数、手がけている。



加藤孝

小泉今日子や内田有紀、ウエツ瑛士や小池徹平らが所属するバーニングプロダクション直結のバーニング養成所・理事長。

三津谷「私の場合、出演シーンが多くて台詞も多いんです。だから各シーンの演技がバラバラにならないように遠藤監督と何度も確認をしましたね」  
須賀「そつですね。共演者との演技があるシーンでは、なるべく台詞合わせをして話すようにしました」  
遠藤「キャリアのある方については僕は

信賴をしていました。だからイメージや動きを説明して演技は任せていたかな。それでも鈴木さん、三津谷さん、須賀さんは素晴らしい演技をしていただけました」  
鈴木「監督の指導があったからです」  
須賀「自分の中でブレない枠があって、その中で演じて、あとは遠藤監督にやりすぎたら抑えてもらった感じですよ」  
三津谷「そつですよ。私も望(役)のイメージを作り出したけど、遠藤監督と話してイメージを崩さないように頑張りました」  
神品「本当に三津谷さんは出演シーンが多いのに頑張ってくれました」  
遠藤「僕も意地悪だから要求は多いんですけど(笑)、皆さん、本当に頑張ってくれたと思います」  
現在の風間と望、昏睡状態に陥った小夜の過去や同級生との関係。その結末は劇場に足を運べば謎も解けるはず。今冬の公開を期待したい。



森下絵理

『TWILIGHT FILE 矜持〜KYOUJI〜』でデビューし、今作で小夜役に大活躍。